

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【わかやま地域の賑わい総合対策プロジェクト】

推進当初

申請者	和歌山県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	716,610千円（140,586千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・ワーケーションなど多様な切り口での、ウェブ等を通じた情報発信を行うとともに、「くらし」「しごと」「住まい」をトータルでサポートする相談体制等を整備することで、本県への移住者の拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 移住者の「くらし」「しごと」「住まい」のサポートを実施 ・「わかやま移住定住支援センター」の運営（委託料等）41,516千円 ・東京・大阪の相談窓口の運営（委託料等）22,613千円 ○ 「わかやま暮らし」の魅力を発信 ・移住プロモーション（委託料等）29,100千円 ・「しごと」のある「くらし」体験会の開催（委託料）19,000千円 ・多様な切り口による関係人口拡大（委託料）5,000千円 ・まちづくり支援のための市町村への補助（補助金）6,000千円 ○ ワーケーションの受入体制強化を実施 ・ワーケーション受入体制支援業務委託（委託料）5,372千円	 わかやまLIFE 移住ポータルサイト「WAKAYAMA LIFE」  わかやま移住定住支援センター  仕事の体験風景  県公式サイト「Wakayama Workation Project」	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住世帯数（年間）（+15,000世帯） ②フェア及びセミナー参加者数（+6,700人／年） ③ワーケーション誘致のためのプロモーション活動による来県者数（+3,230人／年）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousei.html

事業概要【最南端から最先端へ！民間ロケット発射場を核とした地方創生プロジェクト】

推進当初

申請者	和歌山県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	641,652千円(99,338千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的(効果)	・宇宙関連産業の集積化に向けてシンポジウムの開催などにより機運醸成を図るとともに、当該地域における従来の主要産業である観光産業と繋げることで、コロナ禍で大打撃を受けた観光産業の復活はもとより、「ロケットの町」として認知度の向上など地域活性化の多様な相乗効果の創出を図る ・宇宙関連企業の協力を得ながら、県内での宇宙教育やプログラミング教育の充実化を図り、高度人材(研究者・技術者)を育成し、中長期的に地域への集積が期待される宇宙関連産業の人材輩出を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ ロケット打上応援イベント等の運営 ・協議会でのイベント運営(委託料)74,871千円 «内訳» 県:37,435千円、那智勝浦町:18,718千円、串本町:18,718千円 ・映像シアター運営【串本町】(委託料)6,659千円 ○ 高度人材育成のための宇宙教育やプログラミング教育を実施 ・宇宙シンポジウム開催【県】(委託料等)3,529千円 ・児童生徒のイベントの参加促進【県】(役務費等)2,865千円 ・宇宙ワークショップ開催【串本町】(委託料)3,080千円 ・宇宙ワークショップ開催【那智勝浦町】(委託料)2,000千円 ・中高生向け高度プログラミング教育【県】(委託料)5,004千円 ・県立串本古座高校での宇宙教育推進【県】(報償費等)1,330千円  ロケット打上げイメージ(提供:スペースワン社)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①公式見学場(2箇所)来場者数(+13,600人) ②観光入込客数(那智勝浦町・串本町・白浜町・田辺市本宮町の合計)(+136万人) ③県内児童生徒に対する宇宙関連教育実施人数(+1,700人)	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html https://www.town.nachikatsuura.wakayama.jp/Info/1080 https://www.town.kushimoto.wakayama.jp/sangyo/town-planning/sougou-senryaku.html

※和歌山県、那智勝浦町、串本町の広域連携事業

申請者	和歌山県ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,470千円(5,322千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的(効果)	当地方に従来からある自然資源、歴史文化等の可能性を最大限に活かす取組により、稼げる魅力的な産業と雇用を生み出し、地方でも一人ひとりの夢や希望の実現を後押しできる地域社会を創り、次代に継承していく。具体的には、地域一体となって体験交流型観光を推進し、交流人口、関係人口及び移住人口の拡大による地域の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	観光振興を基軸にした協働によるまちづくりを進めるため、1市6町の広域連携及び官民協働による地域内外の人をつなぐ新たな組織を設立し、体験交流型観光の推進体制を整備し、教育旅行を中心とした団体の体験交流型旅行の受入等を行う。これにより、交流人口及び関係人口を拡大させ、観光事業者等の売上増加や一次産業従事者の所得向上につながる経済波及効果並びに地域コミュニティの維持・強化、人材育成、地域住民の地域への愛着と誇りの醸成等といった社会的効果を生むものとする。 ○ワンストップ窓口化構築、組織運営事業 ワンストップ組織運営にかかる費用 5,067千円 ○プロモーション事業 旅行会社や学校への営業活動等費用 255千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①御坊日高広域のワンストップ組織の年間売上額(+38,477千円) ②教育旅行受入人数(+3,532人) ③民泊受入家庭数(+100軒) ④御坊日高広域のワンストップ組織会員内の移住者人数(+22人)	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130500/chiikisinnkoubu/d00210442.html



事業概要【成長志向創業者の育成・支援による地方創生】

推進当初

申請者	和歌山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	121,696千円 (34,184千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトに、創業や成長に必要な「情報の質と量」の集約を促進しつつ、県内外を問わず様々な起業家や経営者との交流の場を創出することで、アントレプレナーシップを有する起業家の増大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○（一社）和歌山イノベーションベースとの連携により、アントレプレナーシップ持つ起業家や企業後継者などを先輩起業家らが育成・支援する仕組みを構築し、創業・育成支援を実施 ・創業機運醸成支援 ・創業者成長支援 } (委託料) 20,000千円 ○ 創業間もない事業者に対し、オフィスの廉価貸与による支援等を実施 ・スタートアップオフィス運営（使用料及び賃借料等）14,184千円		 創業機運醸成（起業家サミット）  創業者成長支援（月例会会での交流）
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内開業率（+1.14%） ②本事業におけるWIB会員からの年商10億円企業輩出数（+5社） ③本事業におけるスタートアップオフィス入居稼働率（+18.4%）		関連URL https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要【大阪・関西万博を見据えた「新たな旅のスタイル」普及・促進】

推進当初

申請者	和歌山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	738,620千円 (166,259千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・「デジタル化」や「アウトドア観光」などポストコロナ時代における新しい旅のスタイルを普及・推進を図る。 ・あわせて、2025年に開催される大阪・関西万博を見据えて、外国人向けの情報発信及び受入環境整備を進めることで、国内はもちろん海外からの観光客の和歌山県への誘客を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 大阪・関西万博を見据え「デジタル化」や「アウトドア観光」等による観光誘客や観光消費拡大策を推進 ・世界遺産登録20周年PR（委託料）23,700千円 ・アウトドア観光ポータルサイト運用、情報発信等(委託料)17,700千円 ○ 万博を契機とした海外向けプロモーションやインバウンド受入環境整備を実施 ・海外観光プロモーターによる情報発信（委託料）33,500千円 ・外国人観光客に係るマーケティング分析（委託料）12,000千円 ・外国人観光客向けコンテンツ整備（委託料）7,613千円  「デジタル化」や「アウトドア観光」による観光誘致  「和歌山ゾーン（イメージ）」 多言語観光ウェブサイト [VISIT WAKAYAMA] ガイドツアー		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+2,440万人） ②本事業におけるモバイルスタンプラリー利用者数（+24,357人） ③本事業における地域通訳案内士育成人数（+130人）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要【ポストコロナ時代の若者就職支援による県内定着・移住促進】

推進当初

申請者	和歌山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	701,240千円 (145,844千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・ポストコロナ時代を見据えたデジタル技術を活用した積極的な就職活動支援による「地方への人の流れ」を加速させることで、新規高卒就職者の県内定着、県外へ進学した大学生や第2新卒者等のUIターン就職による本県への移住の促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ ウェブも用いながら、企業ガイダンスやオープンカンパニーなどあらゆる機会を通じて県内企業と生徒・保護者が接触する機会を提供 ・応募前企業ガイダンス（委託料等）13,007千円 ○ 就職希望者が多い県立学校に対し民間企業等勤務経験者を就職指導員として派遣 ・就職指導員派遣（報酬等）49,619千円 ○ アプリを用いた情報発信などUIターン就職を推進するとともに、インターンシップやUターン就職フェアなど切れ目なく就職活動を支援 ・県内企業と連携したUターン就職セミナー（委託料）10,270千円 ・ウェブサイト・アプリ「UIわかやま就職ガイド」（委託料）5,482千円 ○ わかやま就職支援センターの設置・運営や官民が一体となったUIターン就職支援を実施 ・わかやま就職支援センター運営（委託料等）28,883千円 ・合同企業説明会及びセミナーの開催（委託料）12,376千円  応募前企業ガイダンス  WEB個別企業説明会  インターンシップ風景  わかやま就職支援センター		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 高校生の県内就職率（+13.4%） ② 高卒3年以内の離職率（▲24.0%） ③ 大学生等のUターン就職者数（+744人）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihouseisei/tihouseisei.html

事業概要【体験型観光を通じたシティプロモーションによる

官民一体での持続可能な地域づくり人材の育成事業】

推進当初

申請者	和歌山県橋本市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	395,500千円（138,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・全市的に地域に内在する産業やコミュニティにおける課題を他人事ではなく「自分ゴト」として捉え、市民自身が地域課題の解決に取り組む気運を高め、次世代の担い手となる地域人材を育成する ・官民連携による地域の魅力的な資源を地域住民自らが地域外へと発信できる環境を整え、地域外からの人の流れや、地域のファン、関係人口づくり、また地域住民が地域を知ることによってシビックプライドの醸成を図るといったサイクルを構築する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○体験型観光コンテンツの増加と地域住民等が自らの地域に誇りをもって発信する取り組みを進め、地域への愛着の向上へとつなげていくため、地域内外問わず誰にとっても身近な地場産品「たまご」を使った取り組み等 ・和歌山はしもとオムレツ推進協議会（補助金）3,100千円 ○これまでのシティプロモーション事業の効果による関係人口の増加や若者のUターンを受け入れる体制づくり、加えて地域活動を行う団体への支援を行い、持続可能な地域人材の獲得へとつなげ、地域の担い手確保を行う事業等 ・地域づくり活動に関する経費（交付金等）10,676千円 ○地域の基幹産業である農業において、デジタル技術を活用し販路拡大や地域の稼ぐ力の向上、その波及効果としてふるさと納税収入増加を図る事業等 ・農産物等インターネット販売促進事業（補助金）18,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①体験型観光コンテンツに参加した地域住民の人数（+875人） ②本事業により造成された体験型観光コンテンツの件数（+29件） ③シティプロモーションに関わる事業者の数（+53社） ④本事業で実施するセミナー及びワークショップの参加者数（+270人）	関連URL	https://www.city.hashimoto.lg.jp/guide/sogoseisakubu/seisaku_kikaku/hashimotosousei/hashimotosousei/1547528827083.html



事業概要【「坂の上の家」が繋げる地域内連携創出事業】

推進当初

申請者	和歌山県有田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	6,270千円 (2,450千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・空き家を観光ビジネスや移住者向けの住居として再利用し、集落の活性化を図る ・地域全体の魅力を知ってもらう機会づくりを行い、移住者の増加を目指す ・当該集落において得られた成果を、将来的には他の地区にも拡大していくことで、市全体に対して新たな人の流れの創出を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○集落まち歩きマップの提供、スタンプラリーやマルシェの開催を通して、移住希望者と地域住民との交流機会を増やし、具体的な移住のイメージを持ってもらう。 ・地域事業者との連携等(運営組織活動委託費) 1,000千円 ・マルシェの準備、地区特産品等(広告料) 300千円 ・機器借上げ等(賃借料) 200千円 ・マップ等(印刷費) 80千円 ○地域内の空き家を活用するため、空き家バンクへ住まいの情報を掲載し、移住促進を図る。また、空き家をイベントやチャレンジショップに利用することで、活用事例の紹介を行う。 ・チャレンジショップ運営(運営組織活動委託費) 500千円 ・おとししごと体験開催(委託費) 200千円 ・イベント周知(広告料) 100千円 ・チラシ等(印刷費) 70千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①矢櫃地区への移住世帯数(移住担当者を経由した移住世帯数) (+8世帯) ②矢櫃地区の空き家活用件数(空き家バンクや推進交付金での取り組みによる活用件数) (+8件) ③矢櫃地区への人の流れ創出に寄与する活動によるくらしちやる矢櫃運営協議会(移住推進組織)の収益額 (+3,620,000円)	関連URL	https://www.city.arida.lg.jp/kurashi/sumai/1001037.html



事業概要【多様なツーリズム推進事業】

推進当初

申請者	和歌山県田辺市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	13,000千円 (3,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・登山コンテンツのイメージ定着を図るとともに、インセンティブを造成することで、持続的な誘客を図る。 ・プロモーションツールとしてWEBサイトを制作し、継続的な情報発信が行える体制をつくる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○統一コンセプトの決定及びプロモーションツールの作成 1・2年目の成果を基に、市内に点在する地域資源の統一コンセプトを決定し、今後の柱とすることで、開発したコンテンツのイメージ定着を図る。また、決定した統一コンセプトに基づき、登山地を中心とした地域資源を一体的にPRするプロモーションツール（WEB、冊子等）を作成し、継続的な情報発信に取り組む。 ○インセンティブ造成 インセンティブを造成することで、そこへ行ってみたいという動機付けを行うとともに、域内での周遊や再訪を促進する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①低山登山者数（+3,500人） ②ハイキング・キャンプ等の目的別観光客数（+62,000人） ③本事業でコンテンツ化した旅行商品の取り扱い件数（+80件） ④本事業を通じた関係人口及び関係人口予備軍（+55人）	関連URL	https://www.tb-kumano.jp/activities/walking-2/

申請者	和歌山県かつらぎ町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,873千円 (4,128千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・業者間連携を促進し、地域資源を活用した高い競争力を持つ商品を創出する ・高い競争力を持つ商品の販路開拓、プロモーションにより地域に魅力的な仕事を創出する ・郷土教育により郷土愛の醸成を図るとともに、商品にストーリーや付加価値を付与する ・多様な人材が交流し、地域を愛する全ての住民が地域づくりに貢献できる環境を構築する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	首都圏等の企業経営者や大学研究者、地域の有識者を講師として招き、地域の様々な業種の事業者や住民が共に学ぶ場「かつらぎ熱中小学校」の運営に要する費用に対して、補助金を交付する かつらぎ熱中小学校推進事業補助金：4,128千円 かつらぎ熱中小学校の運営費用から収入を除いた金額を補助金として交付する。 (事業実施主体：かつらぎ熱中小学校（任意団体）、補助率10/10)	 	授業風景 グループワーク
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域産品開発件数 (+49件) ②開発した地域産品の売上額 (+21,070千円) ③地域における起業件数 (+7件) ④熱中小学校会員数 (サテライト会員除く) (+55人)	関連URL	https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/050/050/010/2024-0312-1800-16.html

事業概要【持続可能な地域を創生する世界農業遺産活用戦略推進事業】

推進当初

申請者	和歌山県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	23,384千円(7,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	みなべ、田辺地域では、新たな地域の創生戦略として、梅の生産過程等を踏まえた梅そのものの価値を再認識する中で、梅を核とした「農業システム」を世界に誇れる資源として、引き続き梅産業全般のグローバル展開を図るとともに、梅産業はもちろん地域の魅力・価値を再発見、再構築して、その魅力・価値を十分に理解して発信できる人材を育成していくことを通じて、梅(UME)産業のイノベーションを実現する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○グリーンツーリズム事業研修会や地域の環境保全に関する里山管理、生物多様性の勉強会を開催 ・グリーンツーリズム事業研修会 500千円 ・里山管理、生物多様性の勉強会 400千円 ○地域住民主体で実施する梅システムの保全活用取組への支援 ・住民主導プロジェクト次世代育成事業 1,400千円 ・地域団体世界農業遺産保全活用支援事業 1,200千円 ・耕作放棄地伐採及びミツバチ蜜源樹植樹事業 1,600千円 ○梅の健康への有用性をPRすることで新たな需要や消費拡大を目指す。 ・国内イベントPR事業 1,200千円 ・地域内小中学校等梅機能性PR 400千円 ・海外イベント梅(UME) 500千円 ・海外研修生の受入 500千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①国内外からの宿泊客数(+90,000人) ②新規就農者数(+13人) ③ニホンミツバチの飼養数(+120群) ④年間一世帯当たりの梅干し購入量(+60g)	関連URL	調整中

※和歌山県、田辺市、みなべ町の広域連携事業

事業概要【地域DMO 那智勝浦観光機構を核とした観光地域づくり推進事業】

推進当初

申請者	和歌山県那智勝浦町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,915千円（14,683千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	本町では、持続可能な観光地域づくりのかじ取り役として、2020年4月に「一般社団法人 那智勝浦観光機構」を設立（2021年11月：登録DMOに登録）。地域の多様な関係者を巻き込みながら、既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、域内消費額の拡大による新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口及び移住・定住者の増加へとつなげ、観光で「稼いで潤す町」を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○観光地域づくりによる地方創生実現のための マーケティング・マネジメント ・CMO職員（人件費）：3,532千円 ・データ収集・分析委託：2,000千円 ○ニーズに寄り添い、地域の価値を伝えるプロモーション ・プロモーション・営業等旅費：1,300千円 ・広告物等制作委託：1,518千円 ・ホームページの改良委託：1,023千円 ・ファムトリップ：500千円 ○地場産品振興と豊かな資源を活かしたイベント・ツアーの実施・造成 ・イベント、ツアー経費：4,810千円	 【上図】DMOロゴマーク 【右図】ツアーの実施（温泉ウィーク2023） 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業で実施したイベント・ツアー参加者数 （+1,000人） ②那智勝浦観光機構ホームページへのアクセス数 （+17,800人） ③旅行消費額（宿泊客1人あたり） （+7,200円） ④延べ宿泊者数（+75,000人）	関連URL	https://www.town.nachikatsuura.wakayama.jp/Info/1080

事業概要【和歌山産品デジタル販売力強化プロジェクト】

推進当初

申請者	和歌山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	127,354千円 (21,033千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・中小企業・小規模事業者や農林漁業者による、経営規模が小さいからこそ可能となる戦略的かつ機動的なECへの対応をDXを含めて促進し、産地の稼ぐ力の向上を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ マーケットインの視点から商品開発、バイヤーとのマッチングや中国向けの越境ECなど販売促進を支援 ・パーソナルギフト向け商品開発（委託料）6,650千円 ・商品企画商談（使用料及び賃借料等）1,100千円 ・海外でのPR促進（委託料等）1,437千円 ○ 農林水産品等の情報を集約したポータルサイトを運営し、全国に魅力を発信しバイヤー等とのマッチングを促進 ・ポータルサイト運営（委託料）6,996千円 ・課題別ワークショップ（委託料等）4,850千円	 商品企画商談（イメージ） ポータルサイト「おいしい食べて和歌山モール」 中国向けライブコマース（越境EC販促支援）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県地場産業の年間製造品出荷額等（+59億円） ②本事業を通じたEC販売等向け新商品の開発件数（+30件） ③EC活用を開始或いは改良した事業者数（+690者） ④本事業を通じてセミナー・商談等の年間参加者数（+460者／年）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

申請者	和歌山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	260,876千円 (47,910千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	・水産資源の資源量等を管理しつつ魚介類及びジビエの消費拡大を促進することで、地域の「しごと」を確保・創出し地域経済を支えながら、自然変動等の影響を受けづらい経営体質への転換を促し所得の向上を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 本県主要魚種たちお（特に小型魚）の分布等を調査し、地域の漁業者や市町と連携し適切な資源管理を実施 ・資源評価・調査（たちお）（消耗品費等）4,255千円 ○ いせえびやあわび、魚類等の産卵や成育の場となる藻場の減少要因等をAIなどのデジタル技術を用いて調査分析し、地域ごとの環境や生態に応じた漁場整備を戦略的に推進 ・AIを活用した藻場分布調査（委託料等）16,467千円 ○ 漁業者の収益源の複合化に向け、地域の漁業者グループによる新たな漁業種類の追加や漁獲物を加工する取組を支援 ・不漁に強い漁業経営グループ創出（補助金）12,500千円 ○ 魚介類やジビエの学校給食での提供や、外食産業でのイベント開催など取扱を拡大する取組を実施 ・給食への食材提供・活用促進の実施（消耗品費等）10,076千円 ・外食産業等での魅力発信（委託料等）4,612千円 本県主要魚種たちお 藻場の造成 ジビエを活かしたレシピ 漁業者A 漁業者B 漁業者C 新たに追加 + グループでの取組 個々の操業 グループでの取組 〔例〕 ・カツオのハネ釣り ・貝類・藻類養殖 ・漁獲物の一次加工 ・漁獲物の畜養販売 くじらの竜田揚げ給食 学校での出前授業風景 不漁に強い漁業経営グループ（イメージ）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間海面漁業生産額（養殖除く）（+9.0億円） ②新たに複合経営に取り組むグループ数（+10グループ） ③地産地消給食メニューの開発数（+15メニュー）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要【和歌山の魅力資源を活用したインバウンド推進事業】

推進当初

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	244,696千円 (85,529千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	地域特有の資源を活用したコンテンツの創出・誘客の促進により、市内全体の周遊につなげ国内外からの誘客を図るとともに、県内の中でも「観光地として選ばれるまち」を目指し、多世代交流、滞在時間延長と消費を促す仕組みを構築し、交流人口と市内消費の増加を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①自然・歴史・文化等の磨き上げによる集客の促進 ・漫画「サマータイムレンダ」の舞台になっているエリア周辺に関連する観光資源の活性化を行い、ロケツーリズムの促進を行う：35,274千円 ②大阪・関西万博を契機としたインバウンド等の回復 ・大型外国船の入港に合わせて、入港のセレモニーやイベント開催などおもてなしを行う。また、地元和歌山市の名産品の販売・観光案内・飲食ブースの出店とPRを行う。：1,698千円 ・近隣国で訪日外客数の実績からもっとも効果的にPRを行うことができる台湾や姉妹都市等へ向け、和歌山市産品や観光等のパンフレットの設置、ニーズに合った記事掲載や広告掲載、SNS情報発信などを行う。：13,785千円	サマータイムレンダ×和歌山市  クルーズ船の入港  友ヶ島  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数 (+90,000人) ②外国人宿泊者数 (+5,229人) ③友ヶ島入島者数 (+10,360人)	関連URL	調整中

事業概要【地域の魅力を活かしたサステナブルな移住定住促進プロジェクト】

推進当初

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	182,162千円（54,569千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	市内の人口減少に歯止めをかけるため、移住支援体制の強化や、安心して就労でき、暮らすことのできる環境の整備、また、本市の「海」や「和歌山城」といった重要な地域資源を今後も活かしていくことで、人の流れを生み出し、誰もが住みやすく、住み続けたい、働きたいと思える持続可能な地域づくりの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	大学進学を機に都市部に転出した人等をメインターゲットとし、市内・市外・オンライン等で女性を含む幅広い年齢層の方と企業間のマッチング強化を図る等、U I Jターンや定住を見据えた市内就職を促進する。また、本市の重要な資源の魅力を更に磨き上げ、次世代の担い手である地域の学生等に対し、これらの資源に対する学習を深め、地域への愛着づくりに取り組む。観光地としてのコンテンツ開発やシビックプライドの醸成により、地元定着につなげる。 ※経費内訳はR6年度事業費 ①就職応援事業：9,638千円 ②和歌山城おもてなし共創事業：15,101千円 ③子ども海かいぎ事業：2,236千円 ④アプリを活用した紀伊路ウォーキングイベントの開催やPR動画による熊野古道の魅力向上事業:1,815千円		
KPI	①移住者数（+30人） ②移住関連事業活用者数（+15人） ③就職イベントの市外(県外)からの参加者数（+200人）	関連URL	調整中



申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	145,640千円（55,109千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・本市におけるスマートシティ実現に向けた取組を推進し、本市が住みたい・働きたいまちとして選ばれ、持続的に成長できるまちを目指す。 ・地域課題や行政課題の解決に繋がる市内DX等を推進するとともに、第一段階としてまずは稼げるまちづくりを形成する。		
事業概要・ 主な経費	・和歌山市スマートシティ推進プラットフォームを活用し、デジタル技術を活用して解決することが適当と考えられる課題やニーズの明確化を行う。 ・経済団体や地域金融機関と連携し、展示会等の開催を通じ、市内事業者のDXを促進し、生産性向上を図るデジタルツールの導入等を支援する。 ・実証実験に係る経費：7,095千円 ・市内事業者デジタル化推進事業：5,142千円 ・生産性向上支援事業：20,460千円 (イメージ) 和歌山市スマートシティ 推進プラットフォーム まちの スマート化 行政のDX 市内事業者 のDX □□分科会 (会員提案による) まちなかスマート化 分科会 行政 課題A 分科会 行政 課題B 分科会 行政 課題C 分科会 WG WG WG		
KPI	①製造品出荷額（+450百万円） ②設備投資等に取り組んだ結果、売上が向上した企業数（+30件） ③本事業を通じデジタル化に取り組んだ企業数（+24件） ④新たに商談成立した企業数（+6件）	関連URL	調整中

申請者	和歌山県田辺市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	79,480千円 (33,146千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・森林を活用したコンテンツ造成及び人材育成により地域資源の保全と活用の両立を図る。 ・主要産業である梅酒をテーマとしたコンテンツ造成により、観光振興及び産業振興を図る。 ・世界遺産登録20周年という節目において記念事業を展開することで、メディア露出の増加を図り、認知度向上及び誘客につなげる。 ・プロモーション動画の制作及び配信により、認知度向上及び誘客につなげる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	(1)サステナブルツーリズム推進事業 5,000千円 (委託料) ①森林体験コンテンツの開発及び販売 (継続) ②人材育成 (継続) (2)梅酒ツーリズム推進事業 15,000千円 (実行委員会負担金) ①梅酒を味わう空間づくり (拡大) ②梅酒を活用した周遊促進 (継続) ③梅酒を核とした情報発信 (継続) ④イベントの実施 (拡大) (3)ダイヤモンドイヤーを活かした誘客促進事業 12,000千円 (委託料等) 1年目の企画設計に基づき、記念事業等を展開する。 (4)プロモーション動画制作配信事業 1,500千円 (委託料) テーマごとのプロモーション動画の制作・配信を行う。		
KPI	①観光入込客数 (+2,100,000人) ②森林体験コンテンツの販売数 (+50件) ③梅酒ツーリズム商品の販売数 (+250件) ④耕作放棄地・植栽放棄地の活用 (+13件)	関連URL	https://www.tb-kumano.jp/umeshu-tourism/index/

申請者	和歌山県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	118,072千円 (49,834千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・サステナビリティへの意識を高めつつ、サーキュラーエコノミー型産業の振興を図る ・エネルギーを外部に依存することなく、小水力発電をはじめとする再生可能エネルギー利用促進を図る ・産業・教育・医療・子育て・交通などあらゆる分野において、利便性等を維持・向上させるため、地域におけるD Xの加速化を図る		
事業概要・ 主な経費	※経費内訳はR6年度事業費 ○ 廃食油等の未利用資源を資源化・利活用するスキーム等の構築に向け、関係企業や市町村等と連携して実証事業を実施 ・サーキュラーエコノミー型ビジネスモデル構築 (委託料等) 24,464千円 ○ 小水力発電の立地条件等を踏まえて導入・運用コスト等の詳細な調査を実施し、地域における実装を促進 ・小水力発電の導入等に向けた可能性等調査 (委託料) 6,966千円 ○ 最新デジタル技術やサービスを活用した地域課題解決等に資する取組を、県内外の企業から公募し、本県をフィールドにした実証事業を実施 ・課題解決型デジタル活用プロジェクト推進 (委託料) 10,000千円 ○ 市町村等による交通ネットワーク再編等に向けた調査や、実証運行等を支援することで、MaaSの実装など地域公共交通の利便性を向上させる取組を推進 ・持続可能な地域公共交通の構築に向けた専門家派遣・実証運行等の支援 (報償費、補助金等) 8,404千円		
KPI	① 地域における新規雇用者数 (+1,625人) ② 製造品出荷額 (年間) (+1,176億円) ③ 開発・構築することができた事業モデルの数 (+19件) ④ 参画している事業者数 (+58社) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	【施策の目的が実現したときのイメージ】 ○ 廃食油資源化・活用 ① 家庭系廃食油を回収 ② SAF等として活用 ○ 小水力運用・活用 ① 小水力の実装・運用 ② 電気を活用 ③ SDGsなど人材育成 ○ 地域D X ・地域・産業の様々な分野でD Xを実現 ○ 利便性の高い公共交通 (イメージ: MaaS) ニーズを踏まえて ロスを減らしつつ 効果を最大化 G X D X	
	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html	

事業概要【若者世代を中心としたまちづくりによる次世代人材育成プロジェクト】

推進当初

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	261,805千円 (104,375千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	若者世代が和歌山市で学び、和歌山市で働くことが叶い、夢や希望を持ちながら潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成するとともに、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業機会の創出を一体的に推進することで、急激な人口減少に歯止めをかけ、持続可能で未来に希望の持てる和歌山市の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	● 若者と地域をつなぐまちづくり体制の構築と活動の促進 ・若者に対して集客力のある著名人を招聘し、地元の産品をPRするイベント開催に係る経費 (交付金) : 35,000千円 ・JR和歌山駅周辺の活性化に係る検討 (委託料) 10,280千円 ● 空き家・空き店舗など地域資源を活用した地域価値の向上 ・新たな試みをする商業事業者支援 (補助金) 4,000千円 ・空き店舗等を活用したイベントの実施 (委託料) : 2,965千円 ・空き家の活用促進のための移住サポート (委託料) 12,000千円	   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①和歌山市の人口 (国勢調査基準人口) (▲8,700人) ② 20代の転入超過数 (+105人) ③事業で活用した空き物件での新規開業店舗数 (+6店舗) ④新規市民公益活動登録数 (+2,100人)	関連URL	調整中

事業概要【大阪・関西万博を契機としたわかやまし観光拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	382,420千円（162,774千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	関西国際空港からのアクセスの良さ等の地理的利点を生かし、外国人が旅ナカだけでなく旅マエから本市の見どころを認識できるような情報発信や、外国人観光客のスムーズな受け入れのための体制づくり等を通して、大阪・関西万博を契機とした外国人観光客の増加に努めるとともに、外国人観光客の周遊を促進し、滞在時間・消費額の増加を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①インバウンド獲得に向けたプロモーション ・デジタル技術等を活用した魅力発信（事業補助金、負担金、委託料）22,815千円 ・パンフレット制作（印刷製本費、委託料）10,190千円 ②核となるコンテンツの磨き上げと回遊性向上に向けたしくみづくり ・和歌山市ならではの体験事業（補助金、委託料）52,451千円 ・滞在時間を延長する新たな観光コンテンツの創出（委託料）60,000千円 ・観光案内サービス展開や情報収集・分析、市内周遊を促す空間づくり（負担金、委託料）17,318千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①和歌山市における観光消費額（+1,269,369千円） ②外国人宿泊客数（+5,229人） ③多言語対応ウェブサイト閲覧数（+36,000pv） ④和歌山城天守閣入場者数（+47,103人）	関連URL	調整中

地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要【大阪・関西万博を契機とするSDGsを踏まえた地域振興】

人材育成	観光振興	ローカルイノベーション
○		○

推進補正

申請者	和歌山県	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	87,569千円
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・大阪・関西万博への出展を通じた地域におけるイノベーションネットワークの形成を図る ・プレ万博の開催により、県内企業におけるSDGsを活かした販路開拓や商品開発などのビジネス展開の促進を図る ・大阪・関西万博で展示される最先端技術の体感することができるイベントの開催により、若年層における科学的関心の将来に対する夢や目標など肯定感の向上を図る		
事業概要・主な経費	○ 大阪・関西万博へのSDGs出展を通じた地域におけるイノベーションネットワークの形成 ・商品・コンテンツ等の創出・磨き上げ（補助金）28,500千円 ○ プレ万博の開催による県内企業を主なターゲットとした、SDGsに配慮したビジネスに関する意識の醸成 ・プレ万博開催経費（委託料）30,946千円 ○ 将来を担う若年層等が空飛ぶクルマを題材として最先端技術を学ぶイベントの開催 ・イベント開催経費（委託料）27,964千円	 <大阪・関西万博 和歌山ゾーン(イメージ)>  <空飛ぶクルマイメージ> 出典：経済産業省ウェブサイト	
KPI	①和歌山県における新規雇用者数（+19人） ②本事業における万博を契機とした製品化数（+19個） ③関西SDGsプラットフォーム県内登録企業数（+31社） ④先端技術に対する若年層の関心度（+9.3%）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihouseusei/tihouseusei.html

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【道の駅根来さくらの里にぎわい創出計画事業】

拠点補正

申請者	和歌山県岩出市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	104,876千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	府県間道路にある直売所機能をもつ道の駅に人が集うために施設を整備することで地元農家や商工会などの関係者が活躍できる場を作り、地元農産物の売上増加による産業活性化と市の観光PRの強化による交流人口の増加を取り組み、市を活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	地元農家に収益のある場として魅力ある道の駅に改修し、人が集う場所としてにぎわいスペースを確保する屋根を設置するとともに、製品の魅力を伝えるため、店舗内外の陳列棚等を整備する。 また、店舗にキャッシュレス決済を導入し、今まで見えてこなかった顧客情報を活用して、季節やターゲットに応じた販売戦略を行う。 併せて、多くの旅行者が休憩時に市内の観光情報を取得できるようにWi-Fi環境整備、魅力ある観光資源等の映像を流す大型モニターの設置などを行う。 主な工事費 ・道の駅売店改修・屋根設置等工事：89,173千円 ・店舗工事、キャッシュレス工事等費：15,703千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①岩出市における農林水産出荷額(+10,000千円) ②道の駅根来さくらの里の年間売上(+5,424千円) ③道の駅根来さくらの里の年間来場者数(+10,123人) ④市内観光入込客数(+500,000人)	関連URL	https://www.city.iwade.lg.jp/koushitsu/sogosenryaku.html

